

もっと  
いいね!  
生まれる  
まちへ。

無所属・40歳

# 田村ひろゆき通信

発行：田村ひろゆきとわかりやすい政治をつくる会  
〒188-0013 西東京市向台町6-5-4 info@tamura-h.net



いいね！西東京

## 主なTOPICS

- 田村の政策 こんな西東京市なら、いいね！
- 対談 田村ひろゆき×森てるお市議会議員
- あなたの「こんな西東京市がいいね！」を教えてください
- 訂正とお詫び

2018. 11



市内5駅+近隣2駅で活動中！



森てるお市議会議員と対談 裏面

## 田村の政策

# こんな西東京市なら、いいね！

### 子育て・子育てを応援

私自身が母子家庭に育ち、学童保育のお世話になりました。待機児童問題の解消、放課後の居場所確保など、子育て・子育てを応援するまちをつくりたい。



### 歩きタバコ・ポイ捨てのないまち

駅周辺の「防止地区」だけの問題ではありません。住宅街や通学路でも発生している受動喫煙の被害に、市全体として取り組みます。

### もっと便利なのはなバス・歩きやすい道路

等間隔でわかりやすいダイヤ、バス停位置やフリー降車制の検討など、はなバスはもっと便利にできます。運賃値上げには反対です。危険な歩道や踏切の問題にも取り組みます。



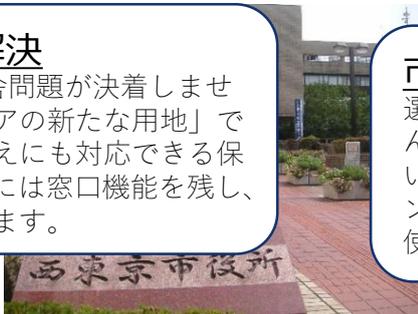
### 市内の貴重な自然を残す

一見みどりの多い西東京市も、公園面積は多摩26市中25位。基金の拡充やクラウドファンディングの活用など、知恵を使って可能な限り次世代に残していきます。



### 庁舎統合は具体的・現実的に解決

合併から来年1月で18年。いまだに庁舎問題が決着しません。具体的なめどのない「市中心エリアの新たな用地」ではなく、敷地が広く将来の現地建て替えにも対応できる保谷庁舎での統合が妥当です。田無庁舎には窓口機能を残し、新たな教育・文化の拠点施設を整備します。



### 市民と政治家の関係を近づける

選挙が終われば後はお任せ、では変わりません。市政の課題や自分自身の活動・お金の使い方を積極的に発信。オンライン・オフラインで常に市民と対話します。市民にもっと使ってもらえる政治家を目指します。

### ✓徹底した情報公開

行政・議会を厳しくチェック。わかりやすい言葉ですべてを発信。

### ✓まちの未来は市民が決める

市民と対話、その声を議会に届けます。住民投票制度もつくりたい。

### ✓無所属を貫く

特定の利益の代弁者にはならない。市民の立場で良い悪いの判断を。

### ✓50年後・100年後を見据える

目先のことだけを考えてツケを回さない。将来を見据えた決定を。

田村ひろゆき  
5つの基本姿勢



### ✓子ども・若者の声を届ける

「子ども条例」の理念を踏まえ、子ども・若者の声が届くまちを。



## 対談 田村ひろゆき × 森てるお

西東京市政にチャレンジする田村ひろゆきと、旧保谷市時代から20年近く活動する森てるお市議会議員が対談しました。全文はWEBに掲載します。

田村：森さんとは私が運営していたI-CASの活動で議員インターンシップを受け入れていただいたところからのお付き合いです。

森：初当選した翌年から10数名の大学生を受け入れてきました。若い皆さんと一緒に活動するのは僕にとっても貴重な経験でした。田村さんはどうしてこのような活動を始めたんですか。

—政治を遠い存在に思っていた。これを変えたいって思ったんです。

田村：大学に進学する前の春休み、近くの小金井市で活動する議員さんを紹介してもらったことをきっかけに、政治をすごく身近な存在に感じたんです。自転車で登場して、コンビニでごはん買って、といわば「フツーの人」だった。それに、地方政治のテーマって私たちの生活に身近な問題ばかり。駅前の放置自転車のこと、学校のこと、公園のこと、難しい話ではないんですね。でも、私自身も含めて政治は難しい、関係ない、そして汚いものというイメージがあって、遠い存在に思っていた。これを変えたいって思ったんです。

森：田村さん自身が政治家を志したのはなぜですか。

田村：地元西東京市のことを振り返った時、選挙の投票率は回を重ねるごとに低下していました。理想論かもしれないけど、100人の市民がいたら100人の意見が反映された政治が行われるべき。それなのに、実際の選挙では4割の人しか投票に行っていない。市民と政治の距離がどんどん遠くなっているという危機感を感じました。

森：同感です。それが、4年前の初挑戦につながるんですね。あの時は僕自身が自分のことで手いっぱいでお役に立てませんでした。その後、市民運動に関わったのですね。



はじめて会った市議会議員は「フツーの人」でした

—市民が知らない間に行政が色々なことを進めようとしている。このままではまずい。

田村：選挙に出たことで、色々な方からお声かけいただき、市内の問題についても関心を深めるきっかけとなりました。そんな中、中央図書館・田無公民館・市民会館の3館を1つにする「合築複合化」案が浮上。面積が狭く駅からも遠くなるこの計画は市民にとっては寝耳に水だと、待ったをかける活動が始まり、私も参加しました。市民が知らない間に行政が色々なことを進めてようとしている、市民参加を表面的にはうたいながら、実際には行政の既定路線に沿って進めるためのアリバイ作りになっている。西東京市のことを知れば知るほど、このままではまずいという思いをさらに強くしたんです。



現役世代の田村さんに期待しています

森：僕自身は、ずっと「情報公開の徹底」「地方政治に政党はいらない」を旗印に活動してきました。市民が主役、市民が主人公の行政にするためには、まずは市民にすべての情報をお渡しすること、市民に考えてもらう材料を提供することが大事だと思っています。

田村：森さんはいつも車でニュースを配ってますよね。

森：いつもって言うても3か月に1回なんだけどもね。でも長年やってると「いつもいる！」って思われてるみたい。

田村：森さんは「無所属」という立場にもこだわっていますよね。

—田村さんは40歳になったばかり。現役世代とまちづくりを進めてほしい。

森：政党所属の議員、あるいはバックに組織を抱えた議員がたくさんいますけど、彼らはどうしても自分の背後にある政党・組織に気を使わないといけません。自分たちの主張に合わない情報は公開しないんです。僕は都合のいいことも悪いことも全部書いちゃう。だから行政の側も「下手なことはできない」って思ってますよ。議会の中では、私のような考え方で行動する人がなかなか出てこなかったのが、今回田村さんと一緒にできるのは僕にとってもうれしいです。田村さんは40歳になったばかりですね。現役世代の市民と一緒にまちづくりを進めていける立場として、期待しています。

### あなたの「こんな西東京市がいいね！」を教えてください

田村ひろゆきは地域の皆さんのご意見・ご要望などを承っております。あなたの考えるこんな西東京市にしたいという声、身近なお困り事などをお聞かせください。ホームページの問い合わせフォームから匿名でもお問い合わせいただけます。

### 訂正とお詫び

田村ひろゆき通信2018.9掲載の応援メッセージで、東久留米市の宮川豊史議員のお名前を「豊文」と誤って掲載してしまいました。正しくは「豊史」です。お詫びして訂正いたします。

### 田村ひろゆきのプロフィール

1978年7月13日 西東京市生まれ。40歳。小学生の頃は「まじめでおとなしい」性格。中高では班長、学級委員長などのまとめ役も。中央大学法学部政治学科卒。旅行好きで時間が取れればどこかへ行きたいと思っているが、最近はお預けの日々。  
・NPO法人I-CAS理事  
(高校生・大学生の政治家体験プログラムを運営)  
・元衆議院議員秘書  
・元武蔵野大学職員  
・元旅行会社社員  
・市政これだいいの会 会員  
・まちづくりを考える西東京市民の会 会員  
・西東京白門会会員

